

目次

3月定例会より	32
常任委員会主な議案と質疑	33~37
本会議討論	38
議決結果・賛否一覧	39
一般質問通告一覧	40~41
議会報告・意見交換会報告	42
議員連盟活動報告、編集室より	43

平成28年3月定例会のあらまし

茅野市議会3月定例会は、2月26日（金）から3月23日（水）までの会期で開催されました。補正予算や条例など31議案が審議され、いずれも原案のとおり可決、承認、同意されました。また、請願・陳情3件が審議され、1件が趣旨採択となり、意見書案1件が可決されました。

■平成28年度予算を可決

一般会計236億5000万円 前年度比3億8000万円（1.6%）の増

『予算決算委員会』は、茅野市議会議員全員が所属し、予算の審査及び決算の認定を行います。3月定例会においては、平成27年度補正予算及び平成28年度予算について審議を行いました。予算決算委員会では、予算書の内容に対し、議員が質疑を行い、担当課より説明を受けます。3月10日、14日、15日の3日間に渡り、活発なやり取りが交わされました。

主な質疑応答については次頁よりご覧ください。



傍聴におでかけください！ 議会棟3階

議場で行われる本会議と、会議室で行われる委員会は傍聴ができます。

本会議の傍聴を希望される方は、傍聴受付証に必要事項をご記入の上、議会棟3階から傍聴席へお入りください。

委員会の傍聴を希望される方は、委員会が始まる前に議会事務局までお知らせください。

委員会の審議

常任委員会（予算決算委員会・総務環境委員会・経済建設委員会・福祉教育委員会）で審議した、主な議案と質疑について掲載しました。

予算決算委員会

委員長 山岸 正衛

議案第21号

平成28年度茅野市一般会計予算について



この議案は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、236億5千万円と定めるもの。

主な質疑

福祉について

問 バス交通確保事業費の福祉バス運行事業補助金9百万円について、10月から生活便バスとなるが、予算は昨年度と同額で足りるのか。

答 新たなバスの再編ということ、9月までは現行のバス路線で、10月からは、新しい路線と

して運行する。運行業者と打ち合わせをしているが、運賃等は未確定である。運賃と国庫補助金の関係もあるが、予算としては足りると思われる。



市街地循環バス

問 生活支援体制整備事業費2400万円の内容はどのようなものか。

答 高齢者への日常生活支援の充実を目指し、生活支援コーディネーターを配置する。現在、社協にはコミュニケーションソーシャルワーカーが8名いるが、10名に増員し業務を委託する。業務としては、地域の課題を解決するため、人材資源の開発、ネットワークの構築、ニーズと取組のマッチングを担っ

ていただく。

問 障害福祉サービス給付費6億277万2千円について、前年度より8276万6千円の増となっているがなぜか。

答 生活介護、施設入所支援、就労継続支援の給付が大幅に増えているため、予算もそれに合わせていく。必要な方に必要な支援を行っていく。

環境について

問 次世代自動車充電設備整備事業費106万4千円について、予算が平成27年度に比べ半分以上、180万円の減になるのはなぜか。

答 平成27年度は3600回の使用を見込んでいたが、市内3カ所の合計使用回数は472回（平成28年2月末日現在）であった。平成28年度は実数を基に5百回の



次世代自動車用急速充電器

使用があると考え、予算を見込んでいる。

教育・子育てについて

問 教育資金利子補給事業費20万円について、事業内容及びその根拠は。

答 諏訪信用金庫と6市町村で協定を結んでいる。教育資金の利子について市が補助する。大学の初年度を対象としている。予算としては、百万円を40人が借りると想定し、利子1.2%のうち0.5%を補助することとして計上した。

問 ファミリーサポートセンター事業費3百万円の事業内容は。

答 この事業は、育児の援助をした、い方と受けたい方を会員として、会員間による相互援助活動を行うものである。事業は社会福祉協議会に委託する。社会福祉協議会は会員募集、会員登録などを行い、利用者のマッチングを行う。利用例としては、保育園の送迎、養育者が病気の時に子供を一時預かりするなど。利用料は平日の8時30分から17時までは1時間800円。それ以外の利用は1時間900円。

問 ファミリー・サポート・センター事業はいつから行うのか。また安全対策や市の関わりは。

答 4月から協力会員の資質向上のため研修を行い、7月頃から開始する。委託先の社会福祉協議会はシャララ・ほっとサービスなど実績があるので信頼している。会の規約も作って運営する。運営に当たり市も一緒になって進めていく。

産業について

問 有害鳥獣駆除対策事業費2030万6千円について本年度はどのような対策を行うのか。実情に合った対策を行っているか。

答 平成28年度のシカの捕獲目標は1500頭である。鳥獣被害対策実施隊の報酬としては、一人当たり1万5千円、72名分を見込んでいる。昨年度の捕獲実績は千頭を少し超えるくらいであり、目標の1350頭には到達しなかったが、本年度も引き続き、里山にシカが下りてこないよう対策を行っていく。



有害鳥獣防護柵

問 転作作物推進事業費256万6千円について、どのような事業内容となるか。

答 転作作物として、エゴマを選定し、北山柏原地区、中央高原で試験栽培を行う予定である。

問 観光施設整備事業費2億743万7千円のうち、土地購入費と蓼科湖建物等補償金が1億3101万7千円ある。この内容はどのようなものか。

答 蓼科湖畔の民間レジャーランド施設と駐車場がある場所（1万3600平方メートル）を市が買取り、建物補償をする。人が集える場所として、公的な駐車場の整備、トイレの設置、芝生広場の整備を行う。

また、地元蓼科観光協会が中心となり、集客施設を整備する。



遊歩道の整備が進む蓼科湖

問 観光施設整備事業費のうち御射鹿池駐車場整備工事について、駐車場の整備により御射鹿池の風景が損なわれることはないか。

答 安全確保のため、県道の整備を行い、併せて駐車場整備をする。道路は、現状より3メートル移動させ、カーブを緩やかにする。カーブの部分に普通車用の駐車場を設置する。バスの駐車場は4台分を予定しているが、景観を損ねることがないよう御射鹿池とは離れたところに設置する予定である。

安全・安心のまちづくりについて

問 空家等対策事業費68万8千円について、本年度策定予定の空家等対策計画にどのくらい強制力を持たせるのか。

答 空家等対策協議会を立ち上げ、空家等対策計画を平成29年度までに策定する。計画には空家の予防、空家の活用、安全・安心の確保対策を盛り込んでいく。

問 住宅団地管理費1148万8千円について、グリーンヒルズビレッジの昨年度の販売状況はどれくらいか。また、本年度の見込みは。

答 昨年度の住宅団地の販売状況はグリーンヒルズビレッジ1件、旭ヶ丘住宅団地1件である。本年度は、グリーンヒルズビレッジ6件、旭ヶ丘住宅団地3件の販売を見込んでいる。販売促進のため、都心部、中京圏、関西等のセミナーに参加し、積極的にアピールしていく。



グリーンヒルズビレッジの風景

後検討していく。個別受信機3万5千円に対し、市の補助は1万5千円。

選挙について

問 選挙啓発事業費7万8千円について、選挙権年齢が18歳以上となるが、学生への啓発はどのように行うのか。また、目が見えない方と点字が読めない方への啓発はどのように行うのか。

答 学生への啓発は、若い方を対象とした啓発活動として6市町村合同で行っていく。若い世代が集うイベントなどに赴き啓発活動を行う。そのため予算は若干増えている。

目が見えない方で点字が読めない方へは、声の公報を準備し、コミュニケーションセンターへ配置する。

多文化共生社会について

問 多文化共生推進事業費報償費の多文化共生推進員報償金63万4千円はどのように使われるのか。

答 昨年度まで、市民課でおこなっていた外国籍住民の相談事業を本年度から、パートナーシップのま

ちづくり推進課が行う。そのため予算である。

【討論】

●反対意見

「力強く明日が輝く茅野市」創造のための積極型予算であり、基金に頼らない収支均衡予算の編成ができたと言明されたが、増収見込みは政府の地方創生関連交付金を中心に、必要な支出を切詰め、市民生活にシワ寄せを強いた編成となっている。

国は在宅介護を推奨しているが、家庭介護を行っている世帯に支給される介護福祉金は減額されたままであり、子どもの貧困が叫ばれ、支援を求める声が広がっているにもかかわらず、平成27年度から就学援助費の支給基準を生活保護基準の1.5倍から、1.3倍に引き下げている。

また、一人親家庭の児童生徒の入学・卒業祝金も廃止したままであり、対象であった家庭にとって「力強く明日が輝く茅野市」とは言えない。

本予算案は不十分であり、市民が安心して暮らせる施策を求め、本予算案に反対する。

●賛成意見

住民の福祉向上に資する予算であり、住民生活へのサービス提供に最大限配慮している予算と認識している。具体的には、将来に渡り持続可能な財政基盤の強化として、基金に頼らない収支均衡予算の編成を行い、計画より1年早く、財政構造改革の目標を達成したことで、政策的経費の重点化による事業の選択を行っている。そのため、本予算案に賛成する。

議案第22号

平成28年度茅野市国民健康保険特別会計予算について

この議案は、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、66億5801万円と定めるもの。



主な質疑

問 特定健康診査事業費5641万7千円について、特定健康診査の受診率を上げるため、昨年度より予算が増えていると思うが、改善指導を行うための特定保健指導事業費が昨年度より減額されているのはなぜか。

答 本年度は脳卒中と心疾患の予防に力を入れ、特定健診の項目に

問

防災無線関連連費2億8295万4千円について、個別受信機(区内放送)の普及についてどのように考えているか。個別受信機(区内放送)の補助は平成29年度までであるが、その後に新築された方や転入された方への対応はどのようにするのか。

答

平成28年度末において百地区のうち72地区で整備される予定となっている。未整備地区へは防災学習会の中で整備をお願いしていく。個別受信機(区内放送)の設置への補助は、平成29年度までとなっているので、期限内であれば、新築等で個別受信機(区内放送)の設置を希望される方へも補助はある。平成30年以降の対応は、今

心電図検査を追加するため予算が増えている。近年の受診率は45.8%程度で推移しているが、受診率を上げるため、心電図検査を取り入れた。保健指導は昨年度の実績を踏まえた予算となっている。

【討論】

●反対意見

本年度も保険税の値上げをしないことは評価するが、国民健康保険には、苦しい生活を余儀なくされている方が多く加入している実態がある。茅野市の統計によると、国保加入世帯は4割ほどで推移しているが、被保険者は市民の四分の一程となり、単身世帯が多いことが推測される。市民から納税関係の相談を受けると、必ず国保税の滞納が含まれている。

市民の命を身近に支える自治体として、一般会計からの繰り入れを行い、保険税の値下げをすべきと考える。こうした取組がされていないため、本予算案に反対する。

●賛成意見

予算編成の段階で、基金から1億2千万円の繰り入れをしている。また、国保税の税率は据置いており、被保険者の医療について適正な予算編成をしている。以上から本予算案に賛

成する。

総務環境委員会

委員長 望月 克治

議案第3号

諏訪広域連合規約の一部変更について



この議案は、諏訪広域連合の処理する事項に行政不服審査会の設置及び運営に関する事務を加え、また当該事務経費の関係市町村における負担割合を定めるためのもの。施行日は、平成28年4月1日。

問 「各市町村ではなく、広域連合に設置する必要があるのか。」

答 「今までは、市が審議をして、第三者機関への諮問はなく判断していた。例として、税の付加決定について数年に一度の割合で行政不服審査請求があり、委員会の効率面や、専門家を委員に迎えるためには、6市町村で共同設置したほうがより良い体制が構築できると判断した。」

議案第8号

茅野市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例について



この議案は、消費者安全法の規定に基づき、消費生活センターの組織及び運営等に関する事項を定めるもの。施行日は、平成28年4月1日。

問 「条例の中に、消費生活相談員資格試験に合格した者を消費生活相談員に置くよう努めるとあり、現在は職員の方1名がこの試験に合格しているとのことだが、この方が退職等された時はどうするのか。」

答 「できるだけ消費生活相談員資格試験に合格した方を確保することが前提である。茅野市では今後、有資格者1名の確保の見通しがあり、もし確保ができない場合は市長が知識経験者を資格者と認めるようになっている。」

陳情3

未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情



不採択の意見

「投票所内での模擬投票は会場の混乱などを招くのではないか。法的にも難しいと考える。実際には不可能な状態であると思う。」

「投票所内に模擬投票所を設置し

ても、選挙啓発や投票率を上げることには繋がらないと思う。」

経済建設委員会

委員長 樋口 敏之

議案第2号

市道路線の廃止について (米沢塩沢地籍)



この議案は、道路法第10条第3項の規定により市道路線を廃止するもの。

場所は、県道茅野停車場八子ヶ峰公園線（通称ビーナスライン）に接道する、民間の農産物直売所の予定地内。



市道路線廃止現地視察
(米沢塩沢地籍)

問 「廃道の面積について、実測した面積と、議案から予測される計算上の廃道面積の違いについて。」

答 「開発に伴い、権利者の立ち合いをを行い、廃道部分の面積が決定した。公図上と実際の面積に差はあるが、現地立ち合いにおいて、面積を確定した。なお、廃道となる部分は、既設の道路に付け替えをする。」

問 「廃道となる道路の付け替え場所は、どのように選定するのか。」

答 「区域内で道路に面するところに付け替えをする。市で形状を確認し、有利なところを選定する。」



廃道分は既存の道路へ付け替えされる。(砂利部分)

請願 1
T P P協定を国会で批准しないことを求める請願

趣旨採択の意見



「日本の農業はしつかり守っていかなくてはならないが、T P P協定については、国益を考えて判断していかなくてはいけない。」

「T P P協定の交渉が進む中で、重要5品目の扱いが国会決議どおりでないことは納得できないが、これからの貿易を考えると広い視野で考えていかなくてはならない。」

「T P P協定により、日本の農業が壊滅するかのように入れられるが、それは違うと考える。日本の農業には構造的な問題があり、T P P協定とは別に解決していかなくてはならない。」



初夏の農作業 (大豆の種まき)

福祉教育委員会

委員長 伊藤 玲子

議案第16号

茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び茅野市学童クラブ条例の一部を改正する条例について



この議案は、市内における放課後児童健全育成事業の基準のうち、対象者に関する基準を小学校第6学年までに拡大し、併せて、市が設置する学童クラブの対象者を小学校第6学年までに拡大するため、施行日は、平成28年4月1日。

問 「学童クラブの対象者を小学校第6学年までに広げた場合、どのくらいの利用者数を想定しているか。」

答 「他市町村の例でいくと、第6学年まで対象を広げたことにより、約1割程度希望者が増えている。利用者については、現在希望を確認しているところだが、今のところ、想定よりも少ない申し込みとなっている。」

問 「1学年から6学年までが一緒になった場合、施設の面積について問題はないか。また、指導員の体制はどのようになるのか。」

答 「学童クラブの基準面積は、一人当たり1・65㎡と決まっております。どの学童クラブも基準面積以上となっている。指導員については1クラブ2人という基準があり、基準どおり配置できるように考えている。」

問 「指導員の資格は。」

答 「指導員については、教員、保育士、保健師、看護師の資格を持った人を一人は必ず配置する。もう一人については、研修を受けた補助者で良いという基準であるため、基準どおり配置する。」





本会議における討論

議案第21号
平成28年度茅野市一般
会計予算について



● 反対意見

昨年の市長選の時、報道関係の調査で市民が一番に要望していたことは福祉と医療の充実である。本年度予算案は積極型予算と言っているが、平均的に予算配分をしただけに感じる。積極的な予算編成というならば、市民の求める福祉と医療の充実に力を入れ、介護福祉金、ひとり親家庭の祝金、就学援助金、心身障害福祉金について、元に戻すべきである。縄文関連事業はメインではなく、一

つの取組程度でよいのではないか。国は福祉や医療の切り捨てを行っているが、茅野市は福祉と医療にこそ力を入れてもらいたい。その姿勢が予算に見えないため反対する。

● 賛成意見

平成26年度からの中期財政フレームに基づく、一般財源の段階的見直しと、市税の増収、地方交付税などの財源確保により、基金に頼らない収支均衡予算となり、基金残高30億円を確保し、一年早く財政構造改革が実行できたことは大きく評価できる。一方で、少子高齢化がますます進み、社会保障経費の増加が見込まれ、また、公共施設維持管理費などが増大するなど、引き続き厳しい財政運営が予想される。

本予算は、責任ある行政として各論に偏らず、可能な限り全体最適を重んじた行政サービスを行うため、予算編成されており、細かい配慮もされていると思われる。本予算は持続可能な自治体として、市民の安全安心と希望をもって暮らせるまちづくりのために必要な予算であり、適正なものとして認め賛成する。

議案第22号

平成28年度茅野市国民健康保険特別会計予算について



● 反対意見

本年度も保険税の値上げをしない

ことは評価するが、国民健康保険には、苦しい生活を余儀なくされている方が多く加入している実態がある。茅野市の統計によると、国保加入世帯は4割ほどで推移しているが、被保険者は市民の四分の一ほどとなり、単身世帯が多いことが推測される。市民から国保税の滞納について相談を受けることも多い。

市民の命を身近に支える自治体として、一般会計から繰入れを更に行い保険税の値下げをすべきと考える。こうした取組がされていないため、本予算に反対する。

● 賛成意見

今後も、被保険者の高齢化、医療の高度化に伴い、医療費は増加していくものと思われる。このような状況の中で、行政として本制度を維持し、広く市民の健康を保つため、一般会計から3億9756万9千円の繰入れも行われ、限られた予算の中で、できる限りの対応を行っているものと理解する。これ以上の一般会計からの繰入れは、大変慎重な議論が求められる。

適切な医療サービスの提供により市民の健康を保ち、そして、特定健診・保健指導などの予防による健康維持の充実、更に医療費の抑制などに取り組んでいただくことを期待し、この予算に賛成する。

平成28年3月定例会 請願・陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	議決結果	
				委員会	本会議
請願1	TPP協定を国会で批准しないことを求める請願	TPP協定の内容が、国会決議に違反しているため、TPP協定の批准を行わないことを求め、国に対し意見書の提出を求めるもの。	農民連 諏訪農民センター	趣旨採択	不採択
陳情1	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求め、国に対し意見書の提出を求めるもの。	軽度外傷性脳損傷 仲間の会	趣旨採択	趣旨採択
陳情3	未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情	選挙権を持たない子どもが投票を体験することができるように、選挙期間中、期日前投票所及び投票所に模擬投票体験スペースを設置することを求めるもの。	Kids Voting Japan	不採択	不採択

3月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧

付託委員会 ○…賛成 ●…反対 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算
 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	付託委員会	議決結果	松山孝志	丸茂岳人	伊藤正陽	小尾一郎	長田近夫	矢島正恒	両角秀喜	両角昌英	伊藤勝	伊藤玲子	樋口敏之	篠原啓郎	山岸正衛	望月克治	宮坂武男	北沢千登勢	小池賢保
1	平成27年度茅野市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	茅野市農業委員会委員任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	財産区管理委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	茅野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	市道路線の廃止について（米沢塩沢地籍）	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	諏訪広域連合規約の一部変更について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	茅野市組織条例等の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	茅野市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	茅野市職員の退職管理に関する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	茅野市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	茅野市議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	茅野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	茅野市税条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	茅野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び茅野市学童クラブ条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	茅野市寿和寮条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	茅野市中小企業振興条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	行政財産の目的外使用に関する条例及び茅野市都市公園条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成27年度茅野市一般会計補正予算（第6号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成27年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成28年度茅野市一般会計予算について	予	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成28年度茅野市国民健康保険特別会計予算について	予	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成28年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成28年度茅野市国民健康保険診療所特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成28年度茅野市墓地事業特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成28年度茅野市水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成28年度茅野市下水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	平成28年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成28年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	平成28年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	1 専決処分の報告について																			
請願	1 TPP協定を国会で批准しないことを求める請願	経	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●	●
陳情	1 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性及び予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	福	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2 宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書		議場配布																	
	3 未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情	総	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
議員提出議案	1 意見書案の提出について（軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの危険性の周知・予防及び対応並びに相談可能な窓口の充実を求める）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議決日は、3月23日の議会最終日（但し、議案第1号、4号、5号、11号は、2月26日の開会日に即決）

茅野市の課題を問う!

平成28年3月定例会の一般質問は、3月8日、9日、10日の3日間行われ、16人の議員から27項目についての質問が市側に出されました。

3月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
篠原啓郎	1 これからの農業振興について	(1) 鹿の増減と被害の動向、鳥獣被害対策について (2) 農地の活用を目指す農林課と農地の地目管理を主とする農業委員会との連携について (3) 農業振興ビジョンは時代を捉えているか (4) 農業振興ビジョン推進の仕組みは整っているか
北沢千登勢	2 地方創生総合戦略「魅力あるしごとをつくる」事業について	(1) 子育て中の女性を雇用した企業への奨励金交付 (2) コワーキングスペース開設事業の進捗
	3 子どもを健全に育む取組の推進について	(1) 学童クラブの利用拡大について (2) 子どもを性被害から守る取組 (3) ユネスコスクールへの加盟について
樋口敏之	4 市内小中学校の情報通信環境とその活用について	(1) 小中連携一貫教育の現状について (2) 小中連携及び国際交流におけるICT活用について
両角昌英	5 幼保小連携教育の取組状況について	(1) 幼稚園、保育園、小学校に取組の温度差はないか (2) 現場の先生方に戸惑いはないか (3) 子どもたちの様子はどうか (4) 幼保小連携教育の課題について
	6 小中一貫教育の取組状況について	(1) 小中一貫教育の進み具合はどうか (2) 幼保小連携教育との繋がりはあるか (3) 茅野市が目指す小中一貫教育の形は何か
山岸正衛	7 犯罪のないまちづくりについて	(1) 下校時間に合わせたパトロールについて (2) 各地区防犯指導員の増員について
	8 茅野高等職業訓練校について	(1) 受講生の状況について (2) 訓練内容について (3) 職業能力検定について (4) 今後のあり方について
矢島正恒	9 新年度予算と主要施策・事業について	(1) 諏訪地方・茅野市における経済動向について (2) 歳入における市税等の状況と一般財源の活用について (3) 「(仮称) 市民活動センター」の運営方針及び開設準備状況について (4) 有害鳥獣駆除の現状と今後の対応について (5) 諏訪東京理科大学公立化等の検討状況について (6) 平成27年度決算見込みと平成28年度以降の中期財政見通しについて
両角秀喜	10 茅野市におけるDMOについて	(1) DMOの目的、組織、展開について (2) 茅野市の観光地域づくりと広域連携の課題について (3) 地産地消による地域経済の循環について
	11 森林資源を利活用した地域づくりについて	(1) 森林の持つ多面的機能の保全について (2) 間伐材による再生可能エネルギーの普及促進について (3) メガソーラー発電所のもたらすものについて
伊藤玲子	12 子どもの貧困対策と子育て施策について	(1) 子どもの貧困対策の施策について (2) 学校現場での貧困等の把握について (3) 子どもの欠食問題について (4) 要保護児童対策地域協議会について
	13 「御柱祭」とまちづくりについて	

	件 名	要 旨
伊藤勝	14 職員の業務の取り組み方について	(1) 業務の改善について (2) 服務規律について (3) 福利厚生について
	15 諏訪東京理科大学の公立化について	(1) 公立化後の大学運営はどのように想定しているか (2) 公立化のリスク、少子化等を想定しているか (3) 魅力ある大学とは
小尾一郎	16 公共施設の使用料・利用料の減免制度について	(1) 減免をする法的根拠について (2) 減免をする目的について (3) 減免の内容について (4) 減免決定に至る過程について
長田近夫	17 生活困窮者自立支援制度の取組について	(1) 1年間の結果について (2) 課題は何か (3) 課題解決方法は何か (4) 平成28年度の目標、計画について
	18 学校給食費無料化について	(1) 茅野市の就学援助制度の内容と援助費の内訳について (2) 学校給食費の現状について (3) 学校給食費を無料化することについて
伊藤正陽	19 長野県環境影響評価制度と霧ヶ峰に建設予定の大型太陽光発電所について	(1) 県環境影響評価条例で事業者に何が求められるか (2) 横河川下流域住民の不安、願いは何か (3) 下流域住民の不安の解消と願いを実現するために、市は何かができるか
	20 18歳選挙権と若者の投票率向上について	(1) 20代、30代の投票率と、若い有権者が投票所へ足を運ばない理由をどう考えるか (2) 投票率を上げるために、教育と行政は何かができるか
丸茂岳人	21 茅野市民プランについて	(1) 本町イオ跡地の活用について (2) 諏訪東京理科大学生の諏訪地域内就職者数について (3) 茅野駅利用促進とリニア駅アクセス確保の取組について (4) 歴史的資料の保存及び閲覧方法について
小池賢保	22 諏訪東京理科大学公立化について	(1) 地方創生から見た存在の意義、公立化の意義について (2) 長野県との連携について (3) 大学の建学の精神と地域で育てる大学との価値の融合について (4) 住民とのコミュニケーションについて
松山孝志	23 平成28年度予算編成について	(1) 総合戦略も加える中での選択と集中について (2) 公共施設のこれからの維持補修について (3) 立地適正化計画によるコンパクトなまちづくりについて (4) 平均寿命と健康寿命のかい離を縮める施策について (5) 補助金の見直しによる新たな活性化について
	24 改定案が用意されているパブリックコメントについて	(1) 制度改定に至るP D C Aについて (2) P D C Aを回す中でのQ C手法の活用について
望月克治	25 消費税の増税の負担から市民生活を守る施策について	(1) 12月議会で可決した公共施設の使用料等は税率が変わればまた変更されるのか (2) 市民の生活を守るための負担軽減策は考えているか (3) 水道料金の税率を据え置くべきだと考えるが、市では検討しているか
	26 安保法制が動き出した際の市への影響と対応について	(1) 地方公共団体の責務として挙げられている責務について (2) 国と地方公共団体との役割分担に挙げられている責務について (3) 国からの指示への対応について
	27 公立化後に諏訪東京理科大学が目指す姿について	(1) 大学の体制は変わらないのか (2) 学部や学科の新設は検討しているか

議会報告・意見交換会を開催しました。(2月11日)

平成28年2月11日(木曜日・祝日)に、茅野市役所議会棟大会議室にて、34名の方にご参加をいただく中で、議会報告・意見交換会を開催しました。

テーブル別グループ懇談では、多くの貴重なご意見等をいただき、誠にありがとうございました。以下にその主要な意見等をご紹介します。

議会に関するご意見

- ・茅野市に「元気」・「活気」が以前に比べなくなっているが、議員から各種提案や提言を要望する。議員からの提言に基づく活力あるまちづくりの推進を希望する。
- ・総論賛成、各論反対とならないよう、実行可能なレベルまで落とした議論をしてほしい。

市政に関する意見

※いただいたご意見について担当課へお伝えします。

【ゴミ拾いについて】

クリーンウォークで区内のゴミ拾いを行うが、国道、山道、高速道路の待合所など、区に属さない場所は誰が行うのか、検討して欲しい。

【鳥獣被害対策について】

北山地籍で鹿防護ネットを張ってあるが、部分的に防護ネットを張ってないところがあり、そこを鹿が自由に行き来しているため、効果が出ていない。防護ネットを繋げるよう市の方で指導をして欲しい。

【青少年自然の森について】

青少年自然の森は、12月から2月まで使用できず、寒いということを経験させようとしたが、できなかった。寒いということも茅野市の魅力であり、体験する子供の目線で使用期間を考えて欲しい。

【尖石縄文考古館周辺について】

縄文で茅野市を売って行くなら、見学施設ばかりでなくお土産や食も大切である。尖石縄文考古館付近には「食堂」「土産物店」がない。何とかならないか。

【案内看板について】

麦草峠を佐久方面から超えて来たとき、「尖石縄文考古館」などの案内看板が少ない。市内の案内看板を充実させてほしい。

【防災無線について】

公民館等に設置してある防災無線機器は、低温(0度以下)における動作が保証されていないが、このことについて、どのように対応するのか。



いただいたご意見の詳細やアンケート結果は茅野市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

生活便バスの利用について、市長に提言書を提出しました。(3月11日)

買い物弱者問題等検討議員連盟

■市内公共交通の生活便バスに関する提言

市が行う市内公共交通がより多くの市民に利用される持続可能な事業となるよう、バス利用に対する市民の意識や利便性を高める取組をまとめ、3月11日市長へ提言した。

具体的には

- ▽上限300円の65歳以上運賃を100円に引き下げ
- ▽大型店駐車場へのバス停設置で買い物弱者支援
- ▽フリー降車制導入の検討
- ▽行政区別に路線図とダイヤをチラシにし各戸配布
- ▽バス利用促進キャンペーンの設定
- ▽バス車体やバス停に中高生のデザイン採用等

9項目にわたる内容で、市長は「現実的な提案で前向きに検討したい。」とし、職員に指示した。

3月30日に市から回答があり、バス料金の引き下げは今後の検討課題とするものの、他の8項目についてはバス事業者や商業施設、関係機関と協議をしながら進めるという内容で、当議連としても提言が効果的かつ有機的な取組になるよう後押ししていきたい。

また、今後も当議員連盟の本来的目的である交通弱者、買い物弱者の方々のニーズや課題に向き合い、どういう仕組みを構築したらいいか検討を重ねていく。



写真提供：市民新聞

■御柱祭上社山出し 招待者の方をご案内しました。(4月2日～3日)

茅野市では、姉妹都市や近隣市町村の理事者や正副議長、関係者の方を招待し、木落しや曳行をご覧いただきました。茅野市議会議員もご案内等おもてなしをしました。



編集室より

七年一度の諏訪地方の心を一つにした式年造営御柱大祭が、4月の山出しに始まり5月の里曳きまで、壮大かつ勇壮に華やかに終了しました。次の御柱祭は平成34年に開催されます。次回まで元気に過

ごしたいと誰でも願うところです。

茅野市議会3月定例会が3月23日に閉会しました。3月議会は予算議会と言われ、各会計予算の審議や議員からの一般質問と条例の改正などの議案質疑を行い、それぞれ案件に對しまして承認・可決を行いました。予算決算委員会では平成28年度各会計の事業や予算について、活発な質疑応答があり住民の福祉向上に資する各会計の予算となったものと思います。

平成28年度の予算内容も含めた「ちの市議会だより」第17号を発行しますので、是非多くの市民の皆様にご覧いただきたいと思えます。

議会広報部会 矢島正恒